

平成25年度 事業計画

I 方針

大阪国際フォーラムは、大阪国際会議場を舞台に講演会、音楽会などの誘致や開催を通じて、国際交流都市としての大阪の潜在力を引き出して、国内外に発信することを目的に設立しました。

フォーラム発足5年目に当たる平成25年度は、昨年度に引き続き恒例となった、海外のアーティストを招いての「中之島国際音楽祭」を開催するとともに、大阪とアジア太平洋地域との文化を中心にした交流を深めていく道を探りながら、国際交流都市・大阪の発展に寄与できる事業を具体化していく。また、冷え込んでいる中国との関係では、これまで培ってきた人脈を生かして、新たな文化や経済関係での交流事業の道を探っていく。

なお、今後の事業（催事）については、大阪国際会議場で行うほか、当フォーラム事業に相応しい施設においても展開していくこととする。

II 事業の実施に関する事項

(1) 日中交流事業

日中関係については、現在、複雑な政治情勢が絡み合っており、民間レベルにおける経済や文化の交流についても、一部ではその影を落とし始めている。しかしながら、日本の将来、アジア太平洋地域の発展を考える上で、日中間の友好交流関係は継続的安定的なものでなくてはならない。とくに人的交流は重要である。

こうしたなか大阪国際フォーラムでは、上海万博等で培った人脈等を通して、一旦中断した「日中文化センター」構想に代わる、経済、文化や医療、観光などにおいて新しい交流事業を立ち上げるべく、その準備を進める。

なお、中国側では上海市内に「日中文化交流センター」を開設され、事業主体の立ち上げ準備ができており、連携を探っていく。

(2) 中之島国際音楽祭2013の開催

大阪国際会議場で開催している音楽祭について、本年は国内と台湾からの演奏家を招聘し、同会議場において開催する。音楽を通して「大阪から世界へ、世界から大阪へ」つなぐ祭典として、また市民の皆様に気軽に

楽しんでいただけるクラシック音楽の祭典として開催する。

(3) 関西・大阪文化力会議の開催

著しい発展を遂げるも、複雑な政治情勢が絡み合うアジアの安定と持続的な発展のために、日本が選択すべき文化戦略や関西・大阪の果たす役割、交流活動について、24年度に引き続きシンポジウム（基調講演、ディスカッション等）を開催する。

このなかで、新しい時代の相互交流のあり方を議論し、国際交流都市大阪、関西が果たすべき役割を確認するとともに、文化交流を基盤に強固なつながり（ネットワーク）を構築する道を探る。

(4) ジャーナリスト会議の開催

グランフロント大阪やあべのハルカスの開業等しい街が出現した大阪には、今多くの人々が訪れている。しかしながら、大阪が目指す国際都市として、世界から多くは人が訪れ、モノ、情報が行き交う街になってきたとは言い難い。

その一つの要因として、大阪の真の魅力（歴史、文化、経済力等）が強力に世界に発信されていないことにあるといわれている。そこで、当フォーラムでは「世界へ 大阪からの発信力」をテーマに、外国人ジャーナリスト、有識者等を交え、現状認識、課題等についてディスカッションを行い提言を行う。

(5) 中之島今昔案内（周辺散策マップ）第4号の発刊

中之島今昔案内では、大阪の経済、文化の中心である中之島の魅力をこれまで広く案内してきた。

第4号においても多くの人が見て、読んで、食べて、歩いて楽しめる、マップを目指す。

併せて、昨年度に引き続き、上町台地地区、心斎橋・難波地区等におけるマップの需要の有無を確認していく。

発行部数は、これまでと同じく20万部とし、駅や美術館、博物館等の公共施設をはじめ、ホテルまた東京のバスターミナルなど160箇所まで配布し、大阪を訪れる多くの利用者に届くようにする。